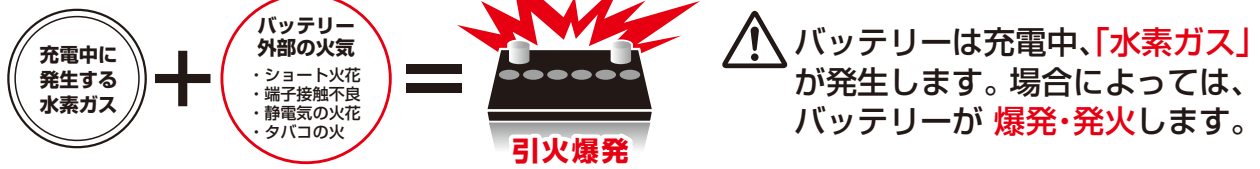


バッテリー充電の前に

弊社バッテリー充電器をお使いいただく前に以下を必ずご確認ください。

1. **バッテリー液が規定量以上入っているか、確認してください。**
2. **充電器の取扱説明書をよくお読みいただき、充電してください。**

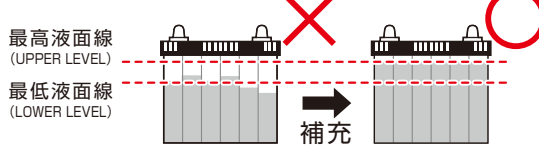
■ 引火爆発のメカニズム



1. **必ずバッテリー液が規定量(LOWER LEVEL)以上入っているか、確認してください。**

バッテリーの液量を確認してください。

液面線の間以下に低下している場合は、最高液面線(UPPER LEVEL)まで精製水を補充してください。



バッテリー液が規定量より少ない状態で使用を続けた場合、カーバッテリー内部の極板接合部が腐食し断裂。スパークによる火花が水素ガスに引火し、破損を起こす危険性があり大変危険ですので、必ず確認してください。

1室のみ極端に液が減っている場合、バッテリーの寿命や、セル間ショートなどが考えられます。この場合は充電せず、バッテリーの交換を強く推奨します。また、初期状態から使用頻度(お車など)がほとんど変わらないのに、バッテリーが頻繁に上がるようであれば、バッテリーの寿命(約2年以上している場合など含む)、故障、またはオルタネーターの異常等が考えられます。メーカーへの点検依頼をお勧めいたします。

2. **風通しの良い環境で、火気、可燃性のものが近くにないことを確認してください。**

注意 風通しの良い所を選んでください。近くに火気、可燃性のもの(ガソリン、オイルなど)がないことを確認してから行ってください。



危険 バッテリーに火気を近づけたり、ショート、スパークをさせないこと。

3. **ご使用前に必ず、コード類に異常がないか確認をしてください。**

コードが損傷した状態等でのご使用は故障または発火の原因となります。

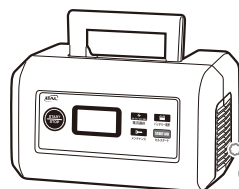
4. **車内に充電器を置いた状態での使用はしないでください。**

充電器は換気が必要です。また不安定な場所でのご使用は充電中にクリップが外れるなど充電器の故障または発火の原因となります。

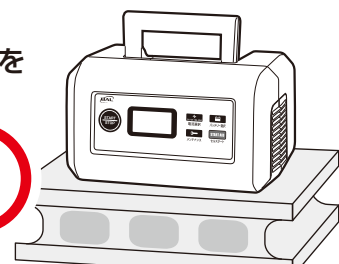
5. **充電器の保管および、ご使用時は、ホコリ、粉塵などがたまりやすい場所を避けてください。**

充電器を使用される際は、**直接地面に置いた状態でのご使用は控えてください。**動作状態により、内部のクーリングファン(内部回路を冷却するために動作します。)にて、地面からのホコリなどを吸い込む可能性があります。ホコリが内部で蓄積された状態で、水分や、充電器周辺の湿度が高い状態が続くと、内部の回路がショートするなど、**充電器の故障または発火の原因**となります。不燃性のブロック等を充電器の下に置き、ご使用されることをおすすめいたします。

ホコリ等を吸い込み、内部回路故障、発火



不燃性のブロック等を下に置く



地面